

災害に強い水道を目指して

水道は、地震などの災害時や水質事故等の非常時においても、飲み水や生活用水などの確保が常に求められています。水道局では、東日本大震災の経験と教訓を踏まえ、大規模災害にも適切に対処できるよう非常時の対応の強化や災害に強い水道の構築を目指しています。

◎応急給水体制

水道局では、応急給水用の水を確保するため、市内21カ所に「非常用地下貯水槽」を設置しています。

「非常用地下貯水槽」は、普段は、配水管の一部として常に水道水が流れていますが、地震発生時には緊急遮断弁が作動し、タンク内に飲料水が確保される仕組みになっています。東日本大震災発生時にも、飲料水が貯えられ、みなさまへの応急給水の有効な手段となりました。

いわき市ではこの経験から、このような拠点給水施設の拡充が必要であると考えており、避難所として指定されている小中学校等の受水槽を利用した拠点給水施設の整備などを、進めていくこととしています。

また、水道局の応急給水活動を円滑に進めるため、「圧送式給水タンク車」を平成25年度までに3台から5台に増やすほか、「給水タンク」や「非常用飲料水袋」などの整備も行っています。



【非常用地下貯水槽の設置場所】

地区	設置場所	地区	設置場所	地区	設置場所
平	菱川町公園	小名浜	横町公園	勿来	植田第二公園
	市立平体育館		小名浜市民会館		錦中学校
	平第二小学校		泉西公園		勿来第一中学校
	下平窪第一公園		江名小学校	勿来第二小学校	
	平一町目公園	常磐市民会館	馬場児童公園		
四倉	四倉小学校	常磐	上湯長谷公園	内郷	宮沢市営住宅
好間	好間第一小学校		三函街内		桜田公園

◎施設の耐震化

水道局では、水道施設の耐震化を推進しています。

施設ごとの耐震化率は右の表のとおりとなっています。耐震化には多大な費用と時間を要することから、耐震化率の向上は容易ではありませんが、これからも施設の耐震化を進めていきます。

【施設ごとの耐震化率】

区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度
基幹管路	34.69%	35.00%	35.30%
浄水施設	27.66%	27.66%	27.66%
配水池	12.29%	12.29%	12.34%

【防災訓練に参加しました】

8月31日（土）に開催された“いわき市総合防災訓練”に参加しました。

今年の訓練は「実践的訓練による災害対応力の強化」を目標に、市内23カ所に避難所を設け、色々な訓練が実施されました。水道局では、久之浜中学校をはじめ沿岸部の主要避難所13カ所に仮設給水所を設置し、応急給水訓練を行いました。

みなさまも、災害時に慌てないよう、どのように行動したらよいかを日頃から考えてみてください。



▲ 江名小学校にて



▲ 久之浜中学校にて

水道局では、地域での防災に関する訓練やイベントなどにも、積極的に参加・協力させていただきます。



お問い合わせ先 配水課配水計画係 TEL 22-9318